三並小学校学校運営協議会だより　第１号

さくらびと

令和8年10月　9日　発行
筑前町立三並小学校
学 校 運 営 協 議 会



みなさん、こんにちは、学校運営協議会です。これから、私たちの活動を年 2 回のお便り発行、校内の掲示板等で保護者・地域のみなさんにお伝えしていきます。

三並小学校の子ども達が健やかに成長していくことができるよう、学校・家庭・地域が三位一体となって、見守っていきましょう。

●学校運営協議会とは…？

学校運営協議会制度は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。（※文部科学省 HP もご参照ください。）

●実際、どんなことしてるの…？

学校と一緒に子ども達の課題をさぐり、その解決に向けた取り組みを考え実践しています。これまで、毎学期行っている児童アンケートの結果を見てみると、「自分には好きなところがある」の問いに否定的な返答をする児童がおよそ 6 割いました（令和 4 年ごろ）。そこで、学校と協働し自己肯定感や自尊感情を高める取り組みができないかと活動を進めてきたところです。その取り組みが、みなさんにご協力いただいている「さくらカード」です。

「さくらワード」で伝える『安心・自信』

今年度は、新たな取り組みとして「さくらワード」を始めています。「さくらワード」とは、「子どもと子ども」「子どもと大人」など、行事や活動のあとに互いのよさ等を直接伝え合う対面での言葉のやりとりです。褒められることや頑張りを認めてもらうのは、「今でしょ！」のタイムリーさが必要だということに考えたからです。日常の中でも何かと声かけをされていると思いますが、「さくらワード」という取り組みを意識し、ご自身のお子さんだけでなく地域や他学年の子ども達にもたくさん声かけをお願いします。そしてこの取り組みを通して、あたたかい言葉で包まれる三並小学校、子ども達が安心と自信をもって通える三並小学校にしていきましょう！







★これまでの取り組みを報告してきました！

8 月 5 日「学校・家庭・地域の連携・協働研修会兼サポーター等研修会」が小郡市生涯学習センターにおいて開催され、北筑後地区（筑前町を含む7市町村）を代表して、本校学校運営協議会の実践報告を行いました。当日は、各学校・地域から 100 名を超える参加者がありました。その中で「さくらカード」の取り組みや、運動会で長年続けてきている児童・保護者・地域の総踊り「ロックソーラン節」の説明をしました。参加者からは「学びが深まった」という声をたくさんいただきました。その中で、「地域と学校が連携することで、学校がよりよくなっていることを感じた。」等の感想もいただきました。これからも、学校・家庭・地域が一体となって活動を進めていきます！